

青高2年次通信

月刊『千里の道も一歩から』

第 1 2 号

令和3年 2月18日発行

■年次主任の独り言■

- もうすぐ卒業式がやって来る。3年次生の高校生活3年間を思い返すとともに、君たち2年次生も後1年で卒業式を迎えるのかと思うと、様々な思いが心を過ぎる。月日（時間）は過ぎてしまうと速いものである。「光陰矢のごとし」ともいう。過ぎ去ってから後悔しないよう、先々を考えながらも、今この時間を全力で臨みたいと日々思っている。
- 3年0学期がスタートして、早1ヶ月。2年次から3年次への意識の切り替えはできたであろうか？来秋の進路実現に向けて、既にいくつかのプログラムが進んでいる。作文指導、就職支援員（CA）による面談、模擬面接会、3年次担任に聞く講演会などなど。それらにキチンと取り組めているであろうか。残念ながら、まだまだ他人事のような振る舞いで、眠り続けている人たちがいる。

サッサと起きなさい！

自分の道は自分で切り拓き、進んで行かねばならない。家族も先生方も君たちを死ぬまでサポートすることはできない。何よりも君たち自身の人生なのだ。その意味でも全て自己責任なのである。

- 「習得の極意は『反復』である」例えば数学の問題が解けたとする。しかし、次に似たような問題が出たとしても解けないことがある。つまり、自分のもの（本物の力）にはなっていないということである。1度できても、次にできるとは限らない。部活動などもそうである。私は長年卓球をやってきて、多くの選手の指導にかかわってきたが、1本ものすごい威力のある球を打って得点して、強くなったように思い込んでしまう選手がよくいる。そんな選手に限って、試合では勝てない。自分の技術（本物の力）になっていないからである。何度も何度も同じ練習を繰り返すことが反復であり、自分にとって“自然”なものにしていく。そして“当たり前”にできるようになる。それが習得のための極意である。できない人は反復（練習）不足なのである。できるまでやる。できたと思ってもなお繰り返してやる。「できた」つもりが最も危険。失敗の原因である。一見単純な繰り返しではあるし、忍耐も必要であろう。しかし「継続は力なり」である。その努力を続けた者が最後は勝つのである。



3年次担任に聞く講演会の様子
(2021.2.12)

●進路室より愛を込めて●

進路指導部長 奥田 政治 先生

温故知新

渡辺明氏と羽生善治氏による第30期竜王戦第2局の序盤は解説者を戸惑わせるものであった。およそ300年前江戸時代の棋譜とほぼ同じであったのだ。

将棋の世界に限らず、おおよそこの世にあるものや仕組みは、時間の経過とともに進化し、進歩すると考えられている。たとえば自動車はその発明から100年あまり、もう自動運転技術が目の前に迫る。小型化・軽量化・高速化はあらゆる場面ですすみ、私たちの暮らしに快適さと便利さを供給している。だからだろうか、「古い物やこと」はノスタルジーをかき立てはするけれど、所詮古いもの、好事家の範疇に属すものに過ぎず、現代の私たちの生活にはあまりなじまないと考えられがちだ。



将棋に戻ろう。ルールが明確なゲームの世界はA Iが最も得意とする分野。渡辺氏も羽生氏も一流の棋士として将棋研究は欠かさない。もちろんA Iも活用しながら日々研鑽を積んでいる。その結果生まれた現代将棋における「最善手」が、300年前を再現するという点がきわめて面白いではないか。ほんの少し前の常識では未熟にみえた手が鮮やかによみがえる。この記事に掲載した記者は次のように結んでいる。「その時代の常識で過去を批判すると全く同じ方法で未来から復讐されることがある」常識も情報も日々更新されていく。温故知新とはこのことだろう。歴史を学ぶ意義もここにある。

♡[ペンリレー]先生からのメッセージ♡

「あなたの夢をあきらめないで 熱く生きる瞳が好きだわ」

教頭 西田 和弘 先生

3学期も早2月中旬を過ぎ、残り1ヶ月あまりとなった。この1年は、新型コロナウイルスのため、マスク着用、手指消毒、手洗い・うがいなど、感染拡大防止策を徹底して行ってきたが、いろいろな学校行事が中止になったり規模が縮小されたりと、君たち生徒にとってもストレスのたまる1年ではなかっただろうか。一方で防止策のおかげか、私自身、風邪をひくことすら今年度はなく、世界的にもインフルエンザ罹患者も激減しているようだ。いよいよ日本でも新型コロナウイルスのワクチン接種が始まろうとしているが、「自分自身の命」を守ると同時に、大切な家族や友達など「周囲の人の命」をも守ることとなる感染拡大防止策を継続して欲しい。いや、是非とも継続すること！

さて、あと1ヶ月半もすればいよいよ3年次を迎える。これまでにこの2年次通信において、年次主任の但井先生、進路指導部長の奥田先生が「3年0学期」を意識した学校生活や家庭生活を過ごすよう述べてこられた。競争を決してあおるわけではないが、いよいよ就職試験や大学入試などが半年ほどすればスタートする。部活動で言うならば、「全国大会」である。高校入試のため、自宅学習日も多くあり、自律した生活が求められる。このような時期に、今一度、自分自身の生活や進路目標を見つめ直し、「全国大会」を勝ち抜くためのステップにして欲しい。また、保健だよりにおいて蜂谷先生が述べておられたが、「3点固定」した生活を送ることも重要である。「起きる時間」「食べる時間」「寝る時間」を毎日固定することである。（欲を言えば「勉強開始する時間」も加え、「4点固定」にして欲しい。）これらの時間は当たり前のようでなかなか固定できない。私自身もそうであったし、今でもそうであるが、いかに当たり前が大切な。校長室前廊下の壁にも掲示してあるが、凡事徹底である。

青谷学を中心として地域の課題や魅力を発見し、いよいよ来年度は課題探究を中心としてその解決策等を探究していく。もちろん他の授業もそうであるが、粘り強く自ら考え、根気強く自ら行動したり協働したりする力が求められている。保護者や友達、地域の方々をはじめとして多くの方々に支えられていることを忘れず、現状に満足せず、自己変革に努め、大きな目標を持ちながら自ら努力を続け、成長することを期待したい。

君たちへの要求ばかりであるが、「悔し涙」ではなく「うれし涙」を共に流したいものである。「またかいや」と思うであろうが、「社会で信頼され、社会に貢献する人材」を目指して共に頑張ろう！応援します！



青谷学ポスターセッション(2021.2.3)の様子

♪ あなたの夢をあきらめないで
熱く生きる瞳が好きだわ
負けないように
悔やまぬように
あなたらしく輝いてね ♪

★3月の行事予定

1	月	卒業式(3年次のみ)		授業なし
2	火	外部講師(2年音楽表現 1限)		7限
3	水			7限
4	木	朝清掃なし 5限の授業カット 6・7限の授業繰上げ 職業別講演会(1年 産社) 一般入試準備(大掃除等 7限) 生徒は 16:30 以降校地内立入禁止(部活動禁止)		6限
5	金	生徒自宅学習	↑	×
6	土	生徒は校地内立入禁止(部活動禁止)		
7	日			
8	月	生徒自宅学習		×
9	火	高校入試 生徒自宅学習		×
10	水	高校入試 生徒自宅学習	↓	×
11	木	生徒自宅学習 生徒は 15:00 までは校地内立入禁止(15:00 以降校舎外の部活動は可)		×
		追検査ありの場合		追検査なしの場合
12	金	短縮40分授業4限まで 生徒は 13:00 以降校地内立入禁止(部活動禁止)	4限	短縮40分授業4限まで 4限
13	土			
14	日			
15	月	追検査 生徒自宅学習 生徒は終日校地内立入禁止(部活動禁止)	×	短縮40分授業4限まで 4限
16	火	短縮40分授業5限まで 教科書販売 外部講師(音楽表現 1限)	5限	短縮40分授業 教科書販売 外部講師(2年音楽表現 1限) 7限
17	水	生徒自宅学習 生徒は終日校地内立入禁止(部活動禁止)	×	生徒自宅学習 生徒は 14:00 までは校地内立入禁止(14:00 以降校舎外の部活動は可) ×
18	木	授業4限まで 生徒は 13:30 以降校舎内立入禁止(校舎外の部活動は可)	4限	短縮40分授業 生徒は 15:40 以降校舎内立入禁止(校舎外の部活動は可) 7限
19	金	合格者登校日 生徒自宅学習 生徒は 15:00 までは校地内立入禁止(15:00 以降校舎外の部活動は可)		×
20	土	春分の日		
21	日			
22	月	教科書販売 外部講師(2年音楽表現 6限)		6限
23	火	スポーツ大会		なし
24	水	3学期終業式・離任式 生徒は 14:00 以降校舎内立入禁止(校舎外の部活動は可)		なし
25	木	春季休業開始 (再募集入試) (再募集入試が行われる場合には生徒は 15:00 までは校地内立入禁止(15:00 以降校舎外の部活動は可))		
26	金			
27	土			
28	日			
29	月			
30	火			
31	水			

4月7日(水)新年度1学期始業式、入学式

※入試等の状況に伴い、行事予定が変更されることがあります。
3月15日の追検査の有無に関しては、学校HP・マチコミで生徒・保護者に連絡します。